

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	既成市街地用途地域見直し事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課			
施策	1-3	個性ある公共空間・歴史環境の形成と保全		主管課長	長橋 祐之			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山本町区域及び周辺区域の土地所有者等	意図	良好な住環境の形成により、満足度が向上する。土地利用の実態に即した、適正な用途地域の指定をする。
事業内容	流山本町区域及び周辺の既成市街地における用途地域等の見直しを行い、地域の実態に即した土地利用の推進を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	本事業は、既成市街地における都市計画変更にあたって、地区全体の将来的な整備方針等を作成するため、平成26年度から平成27年度へ全額繰越明許した。また、当該事業の都市計画決定手続きを進めるなかで、市全域を対象とした「高度地区」の変更の手続きと併せて手続きを行う必要性が生じたことにより、平成28年度に事故繰越をした。平成28年8月30日に都市計画決定した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		流山市は住み心地が良いまちであると思う市	79.30	77.20	79.50	%	↑↑↑
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						流山本町周辺区域における用途地域、高度地区、防火地域及び準防火地域の変更並びに地区計画の策定。
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	高度地区、防火地域及び準防火地域の変更並びに地区計画の策定。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,837,000	3,012,000	6,526,000	・平成28年5月：案の縦覧			
事業費(b)(円)			3,780,000	・平成28年7月：都市計画審議会			
うち一般財源			3,780,000	・平成28年8月：千葉県知事協議			
職員給与費(c)(円)	4,837,000	3,012,000	2,746,000	・平成28年8月：都市計画決定告示			
人役・職員(人)	0.70	0.40	0.40				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	本町周辺の一部区域における、用途地域及び高度地区、防火・準防火地域の見直し及び地区計画の導入を目指す。	取組の課題	指標としている「まちづくり達成度案アンケート」において、まちづくりの市民満足度を上げる。
今年度(H28)に実施した取組	平成28年5月17日から31日まで案の縦覧を行い、都市計画審議会を経て、8月30日に都市計画決定をした。	今後の改善計画	継続した都市計画の見直しをしていく。